

# 平成27年度予算見積調書

課室名：みどり自然課  
 担当名：自然ふれあい・砂利対策担当  
 内線：3039 (単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
B70	自然公園等施設整備事業費	一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	自然公園等施設整備費
事業期間	昭和25年度～	根拠法令		戦略項目		
				分野施策	040104 生物多様性保全の推進	
<p>1 事業の概要</p> <p>県内の自然公園にある歩道や木製階段、標識等は老朽化が進んでおり、安全な通行が確保できない場所が出てきている。</p> <p>階段や橋の破損だけでなく、標識の汚損・欠損も、場所によっては利用者の命にかかわる重大事故につながるおそれがあるため、早期に補修が必要である。</p> <p>多くの方に安心して豊かな自然環境を楽しんでいただくため、施設の修繕や更新を実施する。</p> <p>(1) 自然公園施設等修繕事業費 6,361千円                  (2) 自然公園施設等更新事業費 12,989千円                  (3) 自然公園標識等更新事業費 1,606千円                  (4) 山岳遭難事故対策事業費 19,829千円</p>		<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 自然公園施設等修繕事業費 6,361千円                      既存施設の機能維持を中心として修繕を行う。</p> <p>イ 自然公園施設等更新事業費 12,989千円                      老朽化した施設のリニューアル工事を行う。</p> <p>ウ 自然公園標識等更新事業費 1,606千円                      老朽化した看板の緊急点検と撤去・再設置を行う。</p> <p>エ 山岳遭難事故対策事業費 19,829千円                      事故が多発している両神山・雲取山登山道において、安全対策工事を集中的に実施する。                      その他の県が管理している登山道について、事故原因を調査・分析し、今後の修繕計画を作成する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>県が管理している自然公園施設については、順次計画的に整備を行う。特に現時点で老朽化が激しいものや危険な状態になっているものについては、できるだけ早期に改築、修繕を行う。</p> <p>・事業の目標：施設管理瑕疵が原因の自然公園内での重大事故 ゼロ</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>自然公園を安全で快適に利用できることにより、多くの方の自然と触れ合う機会が増大する。</p> <p>・自然公園利用者数：平成23年 16,739千人 平成24年 17,101千人</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>埼玉県自然公園指導員からの定期報告のほか、埼玉県山岳連盟や首都圏自然歩道利用者等からの意見などを得て整備を進める。</p>				
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>県(10/10)</p>						
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>						
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×0.7人=6,650千円</p>						
		財 源 内 訳				
予算額						一般財源
決定額	40,785					40,785
前年額	17,725					17,725
						前年との 対比
						23,060